

経営状況の概要（令和５年度）

1 団体の概要

団体名	一般社団法人 郡山市観光協会			設立年月日	平成29年4月3日
所在地	郡山市燧田195 JR郡山駅2階			設立根拠	一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第1条
電話番号	024-954-8922	FAX番号	024-954-8923	所管部課	産業観光部観光政策課
主な事業内容	国内外への観光宣伝及び観光誘客、観光情報の収集及び発信、観光振興に関する調査及び研究、観光コンテンツの開発及び商品化 等				
webアドレス	https://www.kanko-koriyama.gr.jp/				

2 財務状況・財務分析（単位：千円）

資本金（基本金）等	0	千円	市出資（出捐）金	0	千円	出資比率	0	%
貸借対照表	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比	増減理由		
	総資産	18,809	11,970	11,251	▲ 719	商品の棚卸残高の減少に伴う流動資産の減少		
	流動資産	18,809	11,970	11,101	▲ 869	商品の棚卸残高の減少		
	固定資産	0	0	150	150	旅行業登録の供託金の増加		
	負債	11,866	3,042	4,610	1,568	流動負債の増加		
	流動負債	11,866	3,042	4,610	1,568	3月事業実施による経費等の未払金の増加		
	固定負債	0	0	0	0			
	資本	6,944	8,928	6,640	▲ 2,288	正味財産（貯蔵品）の減少		
損益計算書	累積欠損額	0			0			
	a 経常収益	108,496	57,657	71,693	14,036	国県等事業採択による受取補助金の増加		
	b 経常費用	108,190	55,601	73,909	18,308	国県等事業採択による事業費の増加		
	c 経常収支差益（a-b）	306	2,056	▲ 2,216	▲ 4,272	国県等事業採択による事業費の増加に伴う経常費用の増加		
	d 経常外収益	0	0	0	0			
	e 経常外費用	0	0	0	0			
	f 経常外収支差益（d-e）	0	0	0	0			
	g 特別収益	0	0	0	0			
	h 特別損失	0	0	0	0			
	i 特別収支差益（g-h）	0	0	0	0			
	j 税引前当期純利益（c+f+i）	306	2,056	▲ 2,216	▲ 4,272			
	k 法人税等	72	72	72	0			
	l 当期純利益（j-k）	234	1,984	▲ 2,288	▲ 4,272			
	m ※ 総収入（a+d+g）	108,496	57,657	71,693	14,036			

3 役職員の状況（令和５年度）※ 職員＝正規職員のみ記載

役員数	22 人	（うち市派遣）	0 人	（うち市退職者）	4 人
職員数	3 人	（うち市派遣）	2 人	（うち市退職者）	0 人
常勤役員平均報酬	368 千円	非常勤役員平均報酬	0 千円	職員平均年収	7,196 千円
役員平均年齢	65.5 歳	職員平均年齢	47.0 歳	人件費（R5）	25,584 千円
市退職者の役員就任割合	18.2% %		※参考	人件費（R4）	22,121 千円

4 団体への市関与の状況

（１）市の支出

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比	増減理由
補助金（助成）	93,523	49,660	48,657	▲ 1,003	
①運営費補助	29,917	49,660	48,657	▲ 1,003	補助金等事業収入の増加に伴う運営費補助の減少
②事業費補助	63,606	0	0	0	
③その他補助	0	0	0	0	
利子補給金	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	
損失補償契約に伴う金利軽減額	0	0	0	0	
出資金、低利貸付等に伴う機会費用	0	0	0	0	
合計	93,523	49,660	48,657	▲ 1,003	
委託料（指定管理料を除く）	9,999	0	3,663	3,663	こおりやま観光物産PR業務受託
うち随意契約	9,999	0	3,663	3,663	
指定管理料	0	0	0	0	

市からの委託業務の詳細（指定管理業務を除く）

こおりやま観光物産PR業務委託（産業観光部観光政策課）

（２）その他

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比	増減理由
損失補償契約に係る債務残高	0	0	0	0	
（将来負担額）	0	0	0	0	
（将来負担算入率）	0	0	0	0	
貸付金残高	0	0	0	0	
出資金	0	0	0	0	
出捐金	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	

5 監査等の結果

監査等種類	定時総会内部監査		
実施時期	令和5年5月18日		
指摘・意見	指摘・意見なし		
対応状況			

6 経営に関する指標 単位：％

法人の自立性	令和4年度	令和5年度	令和8年度	令和11年度	令和16年度	計算式
市からの収入割合	86.1	73.0	82.3	82.3	82.3	市からの委託料・補助金・指定管理料/総収入
市との随意契約比率	0.0	7.0	0	0	0	随意契約金額/委託料
外部委託率	0.0	0.0	0	0	0	外部委託額等/随意契約金額
組織運営の効率性	令和4年度	令和5年度	令和8年度	令和11年度	令和16年度	計算式
販売・管理費比率	15.0	12.8	15.5	15.5	15.5	販売・管理費/総収入
財務の健全性	令和4年度	令和5年度	令和8年度	令和11年度	令和16年度	計算式
経常比率	103.7	97.0	105.9	105.9	105.9	経常収益/経常費用
自己資本比率	74.6	59.0	47.9	47.9	47.9	資本/総資産
流動比率	393.5	240.8	191.8	191.8	191.8	流動資産/流動負債
固定比率	0.0	2.3	0	0	0	固定資産/資本
人件費率	39.8	34.6	37	37	37	人件費/経常費用
利益率	3.6	▲ 3.1	5.5	5.5	5.5	経常収支差益/経常収益
売上高当期純利益率	3.4	▲ 3.2	5.5	5.5	5.5	当期純利益/経常収益
借入金依存度	0.0	0.0	0	0	0	借入金+社債/総資産
余剰金（欠損金）	8,928	0	0	0	0	資本-基本金・資本金
指定管理依存度	0.0	0.0	0	0	0	指定管理料/総収入

7 経営分析、評価及び将来展望について（2～6の分析）

	現在（分析・自己評価）	将来展望・中長期的ビジョン
法人の自立性	国・県等の財源活用等により、市からの収入割合が減少した。	国・県等の財源活用、旅行業登録による体験コンテンツの販売、ツアー販売、令和6年度から開始する観光案内所での宿泊手配、一般酒類小売業免許取得による酒類販売等による事業収益の拡大など、継続的に自主財源確保に取り組む。
組織運営の効率性	国・県等の財源活用、こおりやま観光物産PR業務受託により、販売・管理費率が減少した。	上述のコンテンツ販売や、物産販売等による収入確保を図るとともに、業務の最適化による経費削減に努める。
財務の健全性	観光名刺及び給はがきの販売終了と経年劣化に伴う商品の減、パンフレット配布による貯蔵品の減により自己資本比率が減少した。 収益は増加しているものの、人件費、委託費等の経常費用が増加しているため利益率が減少した。	新たな商品販売、新規会員の獲得及び広告等の収入等により、事業収入を確保するとともに、利益率の回復を図り、財務の健全化を目指す。

8 その他取組状況及び特記事項【団体回答欄】

- ・令和5年度から郡山市観光物産振興協会と統合し、市内物産品のPRの強化を図っている。
- ・令和5年度からこおりやま観光物産PR業務を受託している。
- ・令和5年度に地域限定旅行業の登録をおこなった。

9 市の評価【事業評価】（指定管理業務を除く）

【こおりやま観光物産PR業務】

「こおりやま観光物産PR業務」は、令和5年度から業務委託により発注しているが、業務量の増加による経常費用の増加がみられることから、業務の見直しを行い最適化を図りたい。また、物産PRを積極的に行うことにより情報発信や特産品の販路拡大につながるよう取り組んでいただきたい。加えて、取得した「一般酒類小売業免許」を有効活用できていないことから、通販をはじめとした、ECサイトの活用による販路拡大を期待したい。

10 市の評価【財務・経営状況評価（団体の経営分析を踏まえたもの）】

令和5年から「こおりやま観光物産PR業務」を受託し、物産業務を実施している。国県等事業採択により自己負担を支出したため、経常費用が増加し、当期純利益も約220万の赤字となっている。赤字を補填するため、正味財産を崩したことにより、資本が減少したところである。造成にコストが生じても販売していくことで、黒字展開を期待する。「DMO」法人は安定的な運営資金の確保が必要であるため、収入の確保策を実施、経常費用の使途を見直し、適切な運営を図られたい。地域限定旅行業を活用した手配、酒類販売免許を活用した物産や通販など法人として活用しきれていない状況を打破し、持続可能な法人運営を実施されたい。